

消防業務紹介

～ 消防吏員の様々な業務を
職員の声とともに紹介します～

消防局の勤務形態には、8時45分から翌朝の8時45分まで24時間勤務を行う「交替制勤務」と平日の8時45分から17時15分まで勤務する「毎日勤務」があります。

全国の7割の消防本部では二交替制勤務をとっていますが、当市では**三交替制勤務**をとっており、『当直日』、『家に帰る日になる非番日』、『丸1日休みとなる週休日』を1サイクルとして、3日に1回24時間勤務を行っています。

三交替制勤務は、体を休める時間もプライベートな時間も多く確保できます。

それでは、当局の交替制勤務者と毎日勤務者の業務内容を紹介していきます。

警備隊



警備隊は消火活動を主な任務としており、いち早く火災現場等へ到着して活動できるよう、地水利調査や火災防ぎょ訓練等を行い、各種災害に備えています。

令和4年入局 北消防署警備第一係 植草 雄大

「社会に貢献し、困っている人を助ける仕事がしたい。」

という思いから、大学生の時に消防吏員を志しました。

消防は、災害現場にどの機関よりも早く駆け付けます。

危険と隣り合わせとなる災害現場において、迅速、確実かつ安全な活動が求められます。

そのため毎日のように訓練を積み重ね、「汗を流した分だけ、市民の涙が減る。」という思いで災害に立ち向かっています。

この仕事は、災害現場にいる市民の不安を安心と希望に変えることができ、困っていた方に感謝された瞬間は何事にも代えがたく、とてもやりがいのある仕事です。



救急隊



救急隊は、急病人や交通事故及び災害によるけが人などに応急処置を施しながら病院等に搬送します。
救急隊員は、応急処置の知識及び技術を高めるため、各種研修や高度な救急資器材の取扱い訓練に日々励んでいます。

平成30年入局 東消防署前原分署救急第三係 澤瀬 香穂

私は、過去に救急隊に助けってもらった経験があり、その時の素早い判断やチームワークの良さに目を奪われ、憧れから人命を守るプロとして貢献していきたいと考えるようになり、消防という仕事を目指しました。

現在は、救急隊員として船橋市にいる皆さんを助ける立場となり日々やりがいを感じながら活動しています。

船橋市消防局は、女性が当直勤務できる署が多くあります。子育てをしながら当直勤務をしている女性職員もおり、男性と同様に活躍できる場が船橋市消防局にはあります。

私たちと一緒に働いてくれる新たな仲間を待っています！！



救助隊



救助隊は、人命救助のための専用資器材を100種類以上積載した車両で災害現場に駆け付ける人命救助のスペシャリストです。
中央消防署及び東消防署に高度救助隊、北消防署三咲分署に特別救助隊を配置されており、あらゆる救助事案に対応しています。

平成19年入局 中央消防署救助第一係 鎌田 尚吾
※国際消防救助隊 登録隊員

大学生の頃、地元地域（船橋市）の防犯パトロールに参加し、見回りをする中で、「自分が育った地域を守りたい」という気持ちが芽生えたことが、消防吏員を目指したきっかけです。
救助隊員として10年以上従事する中で、消防救助技術大会で各地域における大会を突破し、全国大会に出場した経験は、災害対応能力が養えたとともに、実災害への活動に繋がりました。
現在、中央消防署の高度救助隊の副隊長として船橋市の安心安全を守るとともに、国際登録隊員として海外の災害にも対応できるよう日々訓練に取り組んでいます。

消防局の様々な業務を通して、私たちと一緒に船橋市と市民の安心安全の確保に貢献しましょう！



指揮隊



指揮隊は、火災現場等において各隊の活動の指揮を執る部隊で、中央消防署、東消防署、北消防署の3つの消防署に1隊ずつ配置されています。現場での活動方針の決定や無線を活用した現場統括指揮のほか指令室との連絡、情報収集などを主な任務としています。

平成28年入局 北消防署消防第三係 小山 竜五

私は以前、一般企業で働いていたのですが、人命救助の最前線で活動する消防士になりたい夢を諦めきれず、働きながら勉強をして、船橋市消防局に入局することができました。指揮隊は、災害情報の収集や活動隊の統制などを行っているため少し地味に感じますが、指揮隊がいなければ活動隊の統制が取れなくなってしまう重要なポジションです。働いていれば、うまくいかないことや落ち込むこともありますが、入局した時の気持ちを忘れることなく、これから努めていきたいと思っています。指揮隊のことも知ってもらい、消防士を目指すきっかけになってもらえれば嬉しいです。



化学隊



化学隊は、NBC災害と呼ばれる毒劇物、放射性物質などに起因した災害に対し、専門知識と専用資機材をもって救助活動等を行う隊です。東消防署前原分署の警備隊が兼務しています。

平成29年入局 東消防署前原分署警備第二係 田中 邑磨

小学校の職場体験で消防署を見学した時、市民の安全を守るために災害現場へ挑む消防士がヒーローのように見えました。また、小学生の頃に実際に東日本大震災を体験し「ひとりでも多くの人を助けられるようになりたい」という想いが強くなり、消防士になることを決意しました。現在は、化学隊員としてNBC災害に対応するため、専用資機材の取り扱いや想定訓練を実施しています。困難を極める現場も、信頼できる仲間がいるからこそ、立ち向かうことができます。消防士は「誰かの役に立ちたい」という想いが力となります。皆さんと一緒に働ける日を心待ちにしております。



特別救急隊



特別救急隊は、常に医師が同乗して出動する救急隊で、生命の危険がある傷病者を救命するため、救急現場に最も近い救急隊と同時に出動します。医師と救急隊員が連携し、一刻も早く高度な医療を提供することを目的とした救急隊です。

平成27年入局 救急課救急第二係 野中 翔太

私は高校卒業後、海上自衛隊に入隊していましたが、地域に密着して様々な災害に対応し、市民の安全を守っている消防の仕事に関心を持ち、その中でも命を救うために活躍する救急救命士に憧れを抱いたことから、全国に先駆けてドクターカーシステムを導入している船橋市消防局を志望しました。

入局後、選考試験を経て救急救命士資格取得のための研修所に入校し救急救命士の資格を取得しました。現在はドクターカーを運用する特別救急隊員として、同乗する医師と出動しています。人の命に携わる仕事はやりがいと誇りを感じます。

「人の命を救いたい」という強い気持ちを持った皆さんと一緒に勤務する日が来ることを心から楽しみにしています。



水難救助隊



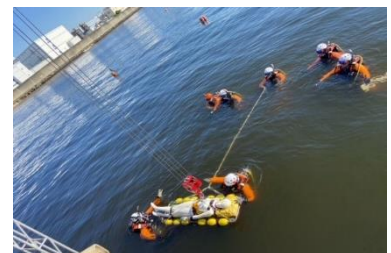
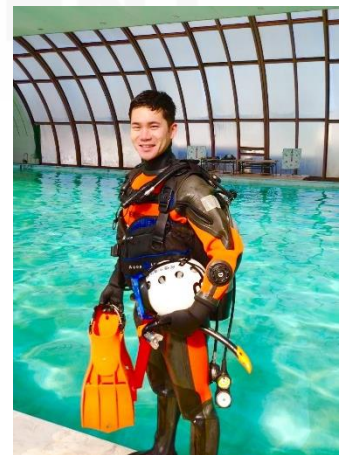
水難救助隊は、特別な教育を積んだ潜水士資格を有した隊員で編成された隊で、市内における様々な水難事故に出動します。中央消防署第二小隊（警備隊）が兼務しています。

平成31年入局 中央消防署警備第二係 堀内 敦貴

私は小さい頃から水泳を習っており、泳ぐことが得意でした。将来、働く上で自分の強みは何だろうと思い返すと、やはり泳ぐことであり、自分の得意なことを活かせる仕事がしたいと思うようになりました。

また、自分が育ってきた船橋市で働きたいという思いもあり、船橋市の水難救助隊の存在を知り、消防士を志しました。水辺の救助活動は水面だけではなく、水難資機材を身に着け、水中でも行います。

言葉を交わせず、視界が悪い水中でも要救助者を救出できるよう、日々訓練に励んでいます。とてもやりがいのある仕事です。皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。



指令係



指令係は、市内の通報者から119番通報を受け、火災や救急など各種災害の現場出動する各部隊へ迅速に出動指令を掛け、現場からの無線統制などを行っています。

平成31年入局 警防指令課指令第三係 横山 温

中学生のころの私の目には、身を挺して働く消防士がヒーローに見えていました。災害に立ち向かう勇ましい姿は、私の憧れ、そして夢となり、必ず消防士になると学生時代に決意して、火災や災害から1人でも多くの人を助けられるよう、勉強だけでなく体力作りにも取り組み、消防士を目指しました。

現在は、通信指令員として119番通報を受けています。

全ての災害は1本の通報から始まります。

通信指令員の業務は、全ての災害に関わることができる唯一の業務であり、誇りを持って従事しています。

市民の安心安全のために働く、とてもやりがいのある仕事です。



装備係



装備係は、消防ポンプ自動車や救急用自動車等の各種消防車両を更新する際の車両設計業務、車検などの維持管理に必要な事務及び消防業務に必要な各種資機材の更新・整備の事務を行っています。

平成31年入局 財務課装備係 久木野 友基

私自身は船橋市出身で、お世話になった方々や地元へ恩返ししたいという思いがあり、野球で培った体力も活かして地域に密着した職業である消防職員を目指しました。

現在は、消防車や救急車の設計や維持管理業務を行う装備係員として勤務しています。中でも車両の設計業務は災害現場で活動する隊員が活動し易くなるように考えて設計します。

設計した車両が形となるので、とてもやりがいのある仕事です。

当局には消防隊や救助隊、救急隊の他にも様々な業務があり、現場活動だけでなく様々な仕事があります。

私たちには、熱い気持ちや志を持った皆さんの力が必要です。

その力は『船橋市を変えていく力』となります。

ぜひ、船橋市でああなたの力を発揮してみませんか。



予防係



予防係は、火災を未然に防ぐため、市民に対する住宅防火の呼びかけ、市民等が多く出入りする大規模な建築物の立ち入り検査や防火対策の指導する等の業務を主に行います。

平成28年入局 予防課予防係 小栗 翔太

中学3年生の頃、被災地で活動している救助隊をテレビで見て自分も将来、人を助ける仕事がしたいと思いました。

就職活動の時、人を助ける様々な仕事の中でも、消防は助けを求める人に真っ先に手を差し伸べ、人命救助に直結する志がとて高い業務を行っていると思い、消防士を志望しました。

消防は「火消し」のイメージが大きいと思いますが、私は消防に求められている最も重要な業務の一つである「火災を未然に防ぐ」ための火災予防業務に従事しています。

火災予防業務には、立入検査や消防用設備の設置指導、火災調査、予防広報など多岐に渡ります。

「人々を守りたい」「市民の方が安心して暮らせるようにしたい」という熱い気持ちを持つ人をお待ちしています。



職員係



職員係は、職員の採用に関する事務、職員の能力開発のための研修に関する事務及び職員の育児休暇や病気休暇等の各種休暇に関する事務を主に行います。

平成27年入局 総務課職員係 海沼 弥生

私が消防士を目指したきっかけは、病院で救急隊を見て「かっこいいなあ」と思ったのがきっかけです。

消防士というと、男性のイメージが強いですが、女性の消防士がいることで市民の方々の役に立つことが増えるのではないかと考え、消防士を目指しました。

消防士になって、市民の方々から「安心するわ。」「女の人で良かった。」等の言葉をかけて貰った時には、とてもやりがいを感じます。

船橋市消防局は、女性のライフステージに応じた休暇等に周りの理解が深く、働きやすい環境が整っています。

女性職員同士も仲が良くプライベートでも交流があります。

ぜひ、船橋市消防局で一緒に働きましょう！



音楽隊



音楽隊は、「市民と消防をつなぐ音の架け橋」として、火災予防の普及啓発活動を展開しています。音楽隊員は、普段、消防車や救急車などに乗車して災害対応を行うなど各消防業務に従事しており、音楽隊の業務を兼任して活動しています。

また、平成25年4月からは市民が市民音楽隊員として加わり、ともに音楽を通じて市民の皆様方に防火・防災を呼掛けています。

平成31年入局 中央消防署夏見分署救急第二係 高木 俊来

私は学生の時、船橋市消防音楽隊の市民隊員募集を知り、大学1年生から消防局に入局するまで市民音楽隊員として在籍していました。

将来、人の役に立つ仕事をしたいと考えていた私は、市民音楽隊員の経験をきっかけに消防業務に興味を持ったことから、消防局の採用を目指し、併せて救急救命士資格取得のため専門学校に入校しました。

今は、救急救命士として救急業務に従事するとともに、音楽隊ではトランペットのパートを任されており、中山競馬場でG1ファンファーレを吹くなどの貴重な経験をする事ができています。

船橋市消防局では現場経験だけでなく、様々な業務を経験できるという魅力があります。船橋市消防局ならではの経験をぜひ一緒に！

また音楽経験のある方はぜひ一緒に音楽隊員としても活動しましょう。



消防局に関する情報は船橋市のホームページで随時更新しています。

↓↓こちらから↓↓ご確認ください。

消防局について <https://www.city.funabashi.lg.jp/kurashi/shoubou/index.html>

採用について <https://www.city.funabashi.lg.jp/kurashi/shoubou/012/index.html>

また、消防局公式のFacebook及びTwitterでも情報を発信しています。

↓↓こちらから↓↓ご確認ください、フォローをお願いします。

<https://www.city.funabashi.lg.jp/kurashi/shoubou/001/p092165.html>

採用試験受験を検討されている方々

職員一同、皆様の入局を
心からお待ちしています！！

船橋市消防局の採用試験を
是非、受験してください！！